

男磨き、そして絆づくり

～男性にとっての男女共同参画の推進～

キーワード：「男性にとっての男女共同参画」「市民団体との協働」
「ファッションショー」「夫婦円満」「高齢化社会」「介護」

天草市男女共同参画センター（以下「センター」と表記します。）では、市民ニーズに合った事業を展開するため市民団体から市民向け講座の企画提案を募集し、市民団体とセンターが協働して実施しています。今回、シニア世代の男性をターゲットとした企画を実施しましたので、紹介します。

イベントの内容 男性が主役となるイベントの実施

★＜第1部＞男性のためのファッションショー

これまで培ってきた考え方や意識を変えるのは容易ではありません。特にシニア世代の男性は、「男はこうあるべき」との固定観念が強く、自分の生き方に制限をかけてしまう傾向にあります。そこで、今までの自分の殻を打ち破り、男性自身の意識を変えるきっかけにしようと、シニア男性モデルによるファッションショーを実施しました。ファッションアドバイザーの意見を取り入れることで、いつもとちょっと違った「カッコいいオッサン」へ変身！

「装いを楽しむ」ことはもっと素敵な自分を見つけることにつながり、いくつになっても輝きを忘れず、シニア男性にもっと元気を出してほしいとの思いから企画しました。また、おしゃれをすることで夫婦いっしょに行動する機会が増え、夫婦円満の一助になれば・・・との願いを込めました。

★＜第2部＞ひとごとではない！男性もしている介護

少子高齢化や核家族化、未婚化など家族形態の変化に伴い、介護者は多様化し、男性の介護者は増加しています。今では介護する人の3人に1人は男性の介護者という時代になりました。しかし、男性は介護や家事に不慣れなため一人で悩んだり、戸惑ったり、行き詰ったりしてしまうようです。そこで今回、男性の介護体験談を聞くことで、男性が介護者になっても孤立しないために、誰かに悩みを打ちあけたり、助けを求めたりすることの大切さを知る場として企画しました。

誰もが直面する可能性のある介護。認知症について理解し、尊厳と思いやりのある介護についても学ぶ機会としました。

活動のきっかけや目的

男女共同参画講座や講演会等を企画しても男性の参加が少なく、センターを活用する団体等の多くは女性です。男性は「男女共同参画＝女性のための取組」というイメージが強く、まずは、センターに多くの男性に来館してもらうことでセンターの認知度をあげ、男性にもセンターを交流の場として活用してもらうことを期待しました。

男女共同参画社会は家族とりわけ夫婦関係が基本であり、お互いが人間として対等に尊重しあい思いやりをもって、家庭の中を居心地のいい場所にしていくことがとても大切です。

そのためには、男性も男女共同参画イベントの企画に参画したり、参加者として関わったりすることで、「男女共同参画社会は、男性にとっても身近で大事なこと」「男女共同参画社会とは難しいことではなく、日頃の問題を夫婦で、家族で、地域で一緒に考え解決していくこと」と男女共同参画に関心を持ち、いっしょに考えてもらう機会をつくりたいと考えたからです。

ポイント 多様な団体や人材を巻き込み、企画段階で男性を参画させる

企画提案団体である「天草市男女共同参画推進ネットワーク つんのでネット～風～」(以下、「つんのでネット」と表記します。)では、ネットワーク力を生かし、貴重な男性会員、子育て支援や介護に前向きに取り組んでいる男性、ターゲットとなる老人会、地域の実情をよく知る民生児童委員、認知症の啓発活動をはじめ認知症になっても暮らしやすい天草を目ざして取り組む「あまくさ♡認知症を地域で支える会」など、多様な団体や人材に声をかけ、男性の考え方や意見を取り入れるため、企画段階から男性に参画してもらいました。

そして、つんのでネット啓発委員のKさんの存在です。Kさんは、「認知症になったとき、夫婦のどちらかが介護をする側になったとしても、その人らしさを大事にして笑顔の出る関係を保っていきたい。」との思いから、男性への啓発の必要性を強く感じていました。センター職員との事前打ち合わせ、男女共同参画に賛同する男性人材発掘のための情報収集や面会・交渉など、Kさんの熱意とネットワーク力があったからです。

多様な団体や人材を巻き込んだことで、女性の視点にはない意外な発想や事業運営での協力体制、集客などにつながりました。

活動の成果や今後の展開

「男性のためのファッションショー」のモデルになった男性は、「この年になってモデルとして人前にでるとは思わなかった。歓声が上がって気持ちよかった。」「恥ずかしかったが、妻に愛され続けるためにも、かっこいいオッサンでありたい。」などの意見が出され、参加者からも「男性が明るいステキな服を着ると気持ちも前向きになり、元気に見える」とありました。まさに、私たちが参加した皆さんに一番感じてもらいたいところでした。

「ひとごとではない！男性もしている介護」については、男性参加者からの質問や感想などの発言も多く、自分の老いや介護から目をそらし後回しにしてきたことにけりをつけ、いつくるかもしれない身近に迫った介護への心の準備など、シニア世代の男性も関心が高いことが伺えました。

今回のイベントを通して、多くの男性にセンターの存在を知ってもらったこと、男女共同参画という言葉を身近に感じてもらえたことは、今後いろいろな問題を共に考えていく基礎づくりができたのではないかと考えています。

男性向けの企画は取組をはじめたばかりで、まだまだ男性が興味を持って参画する仕掛け、工夫が必要であり、男性をターゲットにした講座の難しさを実感しています。しかし、これ

からも、市民団体等の協力を得て、さまざまな年代の男性にさまざまな切り口で、「男性にとっての男女共同参画」に積極的に挑戦していきます。



【自治体・事業紹介】

名称 熊本県天草市

事業開始年 平成 24 年度

ホームページアドレス

<http://www.city.amakusa.kumamoto.lg.jp>

連絡先 天草市男女共同参画センター（企画部男女共同参画室）
熊本県天草市東町 1 3 番地 1

TEL 0969-23-8200 FAX 0969-23-3055

E-mail danjyokyodo@city.amakusa.lg.jp